

科目	情報システム論	担当	野村 淳一	履修学年	2年
時間数	90分×時限×32回(週2回)	履修区分	選択	単位数	4単位

【授業目標・到達目標】

コンピュータとネットワークの利用が高度化する現在、情報システムの役割は社会の中で重要度を増している。また、データベースは多くのインターネット上のサービスを運用するにあたって、欠かせない存在となっている。この科目において、受講生は企業における情報システムの役割やデータベースに関する知識を修得できる。また、演習により受発注データベースの運用能力とともに、簡単なデータベースの作成能力を修得できる。

本科目の到達目標は、身につけた知識を用いて、情報システムに関する現状を理論に基づいて解釈し、適切な意思決定を行うことのできる能力を獲得することである。

【履修注意】

- 教職「情報」の必修科目である。
- IT経営コース所属学生においてはコース必修科目となる。
- パソコンを毎回持参すること。
- 2時限連続の科目であり、講義・演習の順に行う。
- 演習においてはMicrosoft Office Access 2016を使用するため、履修前に準備しておくこと。

【評価方法】

定期試験(50%)、毎回課す演習課題(50%)に受講姿勢を加味し、60%以上の評点を得た学生を単位認定する。なお、講義・演習のどちらかで、6回以上欠席した学生は単位認定しない。

【試験について】

講義内容に関して筆記試験を行う。演習については毎回の提出物で評価するため試験は行わない。

- 再試験対象者の条件: 定期試験受験後の評点が50%以上60%未満の者

【予習・復習】

データベースの利用および作成に関する演習においては、連続した演習内容となるため、操作方法や作成方法を毎回90分以上しっかりと復習し、次回には応用できる水準まで技能を高めておくこと。

【教科書】

購入教科書なし。

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1・2	情報システム	講義: イントロダクション、ICTの動向演習: データベース利用演習(1)
3・4	情報とシステム思考	講義: データと情報、システムの特性演習: データベース利用演習(2)
5・6	企業経営と経営情報システム	講義: 経営情報システムの定義・概念演習: データベース利用演習(3)
7・8	経営情報システムの成功・失敗例	講義: 情報共有、組織学習、組織文化演習: データベース利用演習(4)
9・10	経営情報システムと情報処理モデル	講義: ガルブレイスの情報処理モデル演習: データベース利用演習(5)
11・12	経営情報システムの変遷(1)	講義: 総合型発展段階モデル、MIS演習: データベース利用演習(6)
13・14	経営情報システムの変遷(2)	講義: DSS、OA、EUC、SIS、BPR演習: データベース利用演習(7)
15・16	経営情報システムの変遷(3)	講義: EC、EDI/CALS、ERP、SCM、BI演習: データベース利用演習(8)
17・18	経営情報システムの構成	講義: 共通要素、業種別情報システム演習: データベース作成演習(1)
19・20	前半のまとめ	講義: 経営情報システムのまとめ演習: データベース作成演習(2)
21・22	関係データベース	講義: データ管理方式、RDBの基礎演習: データベース作成演習(3)
23・24	データベースの五大義務	講義: 独立性、完全性、3層スキーマ演習: データベース作成演習(4)
25・26	データベース管理システム	講義: 排他制御、トランザクション制御演習: データベース作成演習(5)
27・28	バックアップとリストア	講義: フル・差分・増分バックアップ演習: データベース作成演習(6)
29・30	ITリスクと事業継続計画	講義: リスクアセスメント、BCP、SLA演習: データベース作成演習(7)
31・32	期末試験	復習・確認・総まとめ